

「老守通信」2022年3月号（通年第201号）

あおぞら八重垣園長 原啓子 発行

嘱託医について

園の嘱託医につきまして、別館を担当して頂いておりました日本ホリスティックグループ（佐々木尊光医師・鍵山惣一医師・星野元医師）が3月を持ちまして契約終了となります。これに伴い本館新館・別館の嘱託医体制を4月より以下の通り変更させていただきたくお願いいたします。嘱託医変更により薬局の変更も予定しております。なお入園者様の病状により現在の嘱託医が引き続き診療にあたる必要がある際は、現在の嘱託医が引き続き担当いたします。何卒よろしくお願いたします。

フロア	担当嘱託医
本館新館3階 別館3階	いんべ杉谷内科小児科醫院 杉谷美代子 医師
本館新館2階 別館2階	春木内科クリニック 春木伸彦 医師

新型コロナウイルスへの対応について

島根県では連日100人前後の新型コロナウイルス感染者が発生し、市内の学校や保育所、医療機関等の感染者発生情報を聞くようになりました。あおぞら八重垣では、入園者様の安全を守るため、毎週の感染対策会議、職員・入園者様全員の1日2回の検温、従業員に対する毎日の注意喚起、従業員の身近で陽性者、濃厚接触者が発生した場合は休みを取りPCR検査、抗原定性検査などを実施し、ウイルスを施設に持ち込まないように引き続き感染対策を行っております。また、このような状況においても入園者様を活気づけ、日々の生活を楽しんでいただけるよう音楽療法の取り組みなど行っております。入園者様の安全安心の園生活のため取り組んで参ります。

音楽療法の取り組み

あおぞら八重垣では、毎日16時半より昔懐かしの音楽を放送し、入園者様に体を動かしていただき笑顔になってもらう取り組みに力を入れております。3月より放送する曲数を2曲から3曲に増やし、懐かしの歌謡曲、童謡などに合わせ手を振ったり体を動かしていただきます。少しでも入園者様を、元気づけ活気のある楽しい生活を送っていただき、より健康になっていただけるよう趣向を凝らしております。